

第 11 回 東京大学教育学部附属中等教育学校 公開研究会案内

東京大学教育学部附属中等教育学校

1. 日時・場所

- 2010年2月20日(土) 9:00~16:30
- 東京大学教育学部附属中等教育学校
〒164-8654 東京都中野区南台1丁目15番1号
TEL (03) 5351 - 9050 FAX (03) 3377 - 3415
<http://www.hs.p.u-tokyo.ac.jp/>

2. 研究主題

「学びの質を高める協働学習」

3. 時程

9:00 ~9:30	9:30	9:50 ~10:40		11:00 ~11:50	11:50 ~12:50	12:50 ~14:20		14:30 ~16:30
受付	諸 連 絡	授業公開 第1校時	休 憩	授業公開 第2校時	昼食休憩	教科別分科会	休 憩	講演会

4. 講演会 14:30~16:30

全体講演： 「効果的な協働学習のあり方」

- 講師： 秋田 喜代美 先生(東京大学大学院教育学研究科教授)
市川 伸一 先生(東京大学大学院教育学研究科教授)
- 司会： 南風原 朝和 (東京大学教育学部附属中等教育学校長)

5. 参加申し込み

(1) 申し込み方法

下記のいずれかの方法で、2009年2月8日(月)までにお申し込みください。

①別紙参加申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

②別紙参加申し込みの必要事項をご参照の上、E-mailにてお申し込みください。

なお、本校 Web サイト <http://www.hs.p.u-tokyo.ac.jp/> から申込用紙がダウンロードできます。

(2) 資料代

当日に資料代として、3,000円を徴収させていただきます。

(3) 昼食

当日の昼食を希望される方は、参加申し込みと合わせて、ご注文下さい。(昼食代は1,000円となります。代金は当日徴収させていただきますのでご了承ください。)

6. 問い合わせ先

東京大学教育学部附属中等教育学校 研究部

〒164-8654 東京都中野区南台1丁目15番1号

TEL (03) 5351 - 9050

FAX (03) 3377 - 3415

E-mail: koukaiken2010@hs.p.u-tokyo.ac.jp

最新の情報は本校のホームページ <http://www.hs.p.u-tokyo.ac.jp/> 内に掲載いたします。

【 授業公開テーマ・題材 】

○ 1 校時(9:50-10:40)

教科	テーマ・題材	学年	授業者
国語	伝統的な言語文化に親しむ学習活動	1年	勝亦あき子
数学	図形	1年	今野雅典
理科	電流と磁界	2年	前田香織
芸術(美術)	デザイン行動	3年	小澤 功
体育	教えて考えさせるフラッグフットボールの戦術学習	4年	井口成明
健康生活(家庭)	食べ物とエネルギー	1年	檜府暢子
英語	まとめの学習	2年	葛城忠彦
情報技術(技術)	アルゴリズム	2年	峯岸 努

○ 2 校時(11:00-11:50)

教科	テーマ・題材	学年	授業者
国語	三大和歌集	4年	田宮裕子
社会	現代バルカンを考える、共同で思考力を養う	4年	野崎雅秀
数学①	確率	3年	西脇佳子
数学②	統計	3年	細矢和博
理科	有機化学	4年	小松 寛
芸術(音楽)	さまざまな音風景	1年	志賀義俊
英語	心に響く英語学習	5年	岡野友美
情報技術(情報)	コンピューターにおける演算のしくみ	5年	長嶋秀幸

【 教科別分科会テーマ・要旨など 】

○教科別分科会(12:50-14:20)

<p>国 語</p>	<p>テーマ : 授業の基本を考える</p> <p>教師の発問に対し、生徒はどのように反応しながら「ことばの学び」を成立させていくのか。協働学習における教師と生徒または生徒間の「やりとり」を主たる観察対象としながら授業を検討し、「ことば」を媒介とした学習者個々の「学び」と集団の「学び」相互の関係性と効果的な対話や発言を引き出す発問のありかたを考える。</p> <p style="text-align: right;">助言者 : 黒石 陽子 東京学芸大学教育学部 教授</p>
<p>社 会</p>	<p>テーマ : 協働で思考力を養う</p> <p>グループで「ともに考える時間をとる授業」を行なってきました。グループでの生徒同士のかかわり方、全体での共有がスムーズになるために、どのような方法がいいのか、参加者の方々の経験も交えながら、議論できたいと考えています。</p>
<p>数 学</p>	<p>テーマ : 新学習指導要領と6ヶ年一貫カリキュラム</p> <p>本校では、従来より発達段階と系統性を考慮した6年一貫カリキュラムの検討を行なってきた。中等教育学校への移行期に、現行の学習指導要領をもとにした現在の6年一貫カリキュラムを作成し、その後、実際の授業を行なう中での微調整を行ないながら現在に至っている。2008年の次期学習指導要領の発表を受けて、改めて本校の6年一貫カリキュラムの特徴と問題点を見直し、次期学習指導要領で特徴的な単元の取り扱い方などを中心として、本校の次期カリキュラムの概要に関して議論したい。</p>
<p>理 科</p>	<p>テーマ : 新学習指導要領にもとづく探求活動のあり方</p> <p>中高一貫の利点を活かし、現行と新しい学習指導要領を比較しながら、探求活動をどのように行うかを考えます。様々な学習形態の実践のなかから、協働して探求する学びについて意見交換ができればと考えています。</p> <p style="text-align: right;">助言者 : 兵頭 俊夫 東京大学教養学部附属教養教育開発機構 教授</p>
<p>芸 術</p>	<p>テーマ : 新学習指導要領と学びについて</p> <p>芸術教科の「学び」とは何か、音楽・美術における表現と鑑賞の内容を深める授業をするためにはどのようなことが重要なのか、新学習指導要領の趣旨をふまえて実践研究を進めてきた。分科会では音楽と美術に分かれて、これまでの取り組みと授業実践をもとに学びについて検討し、議論ができればと考えています。</p>

<p style="text-align: center;">体 育</p>	<p>テーマ : 協働で深める認識学習</p> <p>球技における戦術認識、器械運動における技能認識を中心に、協働や共同的学习方法をどのように位置づければより深い認識を共有できるようになるのか。その方法や実践的課題について、また保障すべき認識内容は何かを参加者とともに考えていきたい。題材として当日公開の4年のフラッグフットボールの授業や中学1年でのハンドボールの実践などを検討する。</p> <p style="text-align: right;">助言者 : 森 敏生 武蔵野美術大学 教授</p>
<p style="text-align: center;">健康生活 家庭</p>	<p>テーマ : 実践力を養う授業の工夫</p> <p>環境問題を中心に知識を実践に結びつけるような授業実践について考える。実践に結びつけるため、シミュレーションなどをとりいれたを参加型学習、他教科との連携など授業の工夫を中心に行う。</p> <p style="text-align: right;">助言者 : 根岸 富男 神奈川県立横須賀高等学校社会科 教諭 「神奈川新しい環境学習を作るネットワーク」世話人</p>
<p style="text-align: center;">英 語</p>	<p>テーマ : 題材に根ざした協働学習のあり方</p> <p>基礎基本の定着を大切にしつつ、授業にグループ学習を取り入れ高いレベルの課題について協働学習を行う工夫を検討する。どのように協力的に学ぶ姿勢を育ていけばよいのかについて参加者の皆さんとともに考えたい。</p> <p style="text-align: right;">助言者 : 成田喜一郎 東京学芸大学大学院教育学研究科 教授</p>
<p style="text-align: center;">情報技術</p>	<p>テーマ : 技術教育の一環としての情報技術カリキュラム</p> <p>本校では、高等学校の情報科を技術教育の一環ととらえ、中学校技術科の情報分野と連携した情報技術教育カリキュラムについて研究、実践してきた。本校での教育実践をもとに、情報技術カリキュラムについて議論する。</p> <p style="text-align: right;">助言者 : 坂口 謙一 東京学芸大学自然科学系 技術・情報科学講座 准教授</p>